



令和7年12月18日
海上保安庁

令和7年度海洋情報部研究成果発表会を開催

～ドローン 海を調べ・観る・測る～

海上保安庁は、令和8年1月29日（木）、「ドローン 海を調べ・観る・測る」をテーマに、「海洋情報部研究成果発表会」を開催します。今年度は、海洋情報部がドローンを用いて実施した水路測量や海象観測、海域火山調査等で得られた研究成果などについて発表を行います。

どなたでもご覧いただけます。多くの方の参加をお待ちしております。

1. 概要

海洋情報部では、広く一般の方に海洋情報に関する最新の調査・研究の成果について知っていただくため、「海洋情報部研究成果発表会」を毎年開催しています。

本研究成果発表会では当部の研究成果の発表に併せて、水路新技術講演会を開催しており、今年度は以下のとおり2名の方に基調講演をしていただきます。

詳細については、別紙1をご参照ください。

【基調講演Ⅰ】

国立極地研究所 研究教育系・地図研究グループ 助教 藤井 昌和 氏
「和製 AUV「MONACA」による南極氷下観測」

【基調講演Ⅱ】

国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門
地震津波予測研究開発センター長代理・主任研究員 飯沼 卓史 氏
「海上無人機による海底地殻変動観測」

2. 開催日時

令和8年1月29日（木）13:30～17:30（13:00開場）

3. 開催方法（ハイブリッド方式）

会場：中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室（定員150席）
(東京都千代田区霞が関三丁目1番1号)

オンライン：Cisco Webex Meetings

※両者とも参加無料

※現地及びオンラインともに、開催途中での入退室が可能です。

4. 参加申込等

別紙2「参加申込み方法」をご参照のうえ、令和8年1月26日（月）までにお申込みをお願いします。

令和7年度海洋情報部研究成果発表会/水路新技術講演会プログラム

日 時：令和8年1月 29 日(木)13:30～17:30(13:00 開場)
会 場：中央合同庁舎第4号館2階 共用 220 会議室
方 式：ハイブリッド方式(会場開催と Web によるオンライン開催)
主 催：海上保安庁海洋情報部 共 催：一般財団法人日本水路協会
テーマ：ドローン 海を調べ・観る・測る

<開会挨拶>

13:30-13:40 海洋情報部長 木下 秀樹

<口頭発表>

- ①13:40-14:20【基調講演Ⅰ】
和製AUV「MONACA」による南極氷下観測
国立極地研究所 研究教育系・地図研究グループ
助教 藤井 昌和
- ②14:20-15:00【基調講演Ⅱ】
海上無人機による海底地殻変動観測
国立研究開発法人海洋研究開発機構
海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター
センター長代理・主任研究員 飯沼 卓史
- 15:00-15:20 休憩
- ③15:20-15:45 海洋情報部のドローン利用：歴史と取組み
技術・国際課 三枝 隼
- ④15:45-16:10 琉球弧・沖縄トラフ・東シナ海において実施した
AUVを用いた精密海底地形調査成果
大洋調査課 堀之内 龍一
- ⑤16:10-16:35 高品質なAUV測深データの取得に向けた
調査手法の標準化に関する技術的な取組
技術・国際課 住吉 昌直
- ⑥16:35-17:00 海上保安庁における自律型海洋観測装置(AOV)による
観測の成果と今後
沿岸調査課 五味渕 有花
- ※講演及び発表の時間には、質疑応答時間を含みます。
- 17:00-17:10 全体的な質疑応答

<ポスター発表(会場展示及び概要紹介)>
17:10-17:25 ポスター発表者より紹介

P1 ニューハンプシャー大学におけるラボビジット報告
大洋調査課 堀之内 龍一
ニューハンプシャー大学 John Hughes Clarke, Larry Ward,
Jang-Geun Choi, Rachel Morrison,
Atsushi Matsuoka, Rochelle Wigley

P2 2025年までに得られた海底地殻変動観測の成果
沿岸調査課 海洋防災調査室 海底地殻変動観測グループ

P3 伊豆弧南部リフト帯での珪長質マグマ活動：
2023年10月伊豆諸島南方海域漂流軽石との関連

技術・国際課 原口 悟

P4 海図の地名に使われる「礁」の読み

情報管理課 河合 晃司・社 泰裕
技術・国際課 藤井 智雄

<閉会挨拶>
17:25-17:30 技術・国際課長 中林 茂

参加申込み方法

参加を希望される方は、次の要領により事前に申込みをお願いします。

1 申込方法

海上保安庁海洋情報部のホームページから[「参加申込ボタン」](#)をクリック又は、スマートフォンなどにて、次の二次元コードを読み取り、フォームに従い必要事項を入力のうえ、お申込みください。

＜必要事項＞

- ①聴講方法（会場またはオンライン）、
- ②氏名、③ 所属、④ 連絡先（メールアドレス）



2 申込期間

令和8年1月26日(月)まで

※ お申込み多数の場合は、期間中に締め切りとさせていただく場合がございます。会場参加は先着順となりますので、予めご了承ください。

3 参加費 無料

4 参加条件

- (1) 発表会は、Web会議サービス Cisco Webex Meetings を使用します。聴講環境は、参加者ご自身で設定してくださいますようお願いいたします。
- (2) Web会議サービスに参加する際、アクセス名の入力が必要です。お申込み時に記入した「氏名」を使用してください。
- (3) 発表会開催中は、入力したアクセス名（氏名）が、参加者全員に公開されますので、ご承諾いただきますようお願いいたします。

5 参加者への通知

令和8年1月28日(水)までに、お申込み時に記入いただいた連絡先（メールアドレス）へご連絡いたします。

6 その他

- ・ 会場に専用駐車場はございませんので、ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
- ・ 基調講演及び成果発表の録画動画については、後日、海洋情報部ホームページにて公開を予定しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

会場へのアクセス



海洋情報部研究成果発表会
会場へのアクセス

会 場 中央合同庁舎第4号館2階 共用220会議室
東京都千代田区霞が関三丁目1番1号

最寄り駅 東京メトロ

- ・丸ノ内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分
 - ・丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」4番出口 徒歩5分
 - ・銀座線「虎ノ門駅」6・11番出口 徒歩5分

ドローン 海を調べ・観る・測る

NIPPON
日本

令和8年1月29日(木)
午後1時30分から(開場午後1時)

主催者挨拶

海洋情報部長 木下 秀樹

基調講演I

和製AUV「MONACA」による南極氷下観測

国立極地研究所 研究教育系・地図研究グループ

助教 藤井 昌和

基調講演II

海上無人機による海底地殻変動観測

国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門 地震津波予測研究開発センター

センター長代理・主任研究員 飯沼 卓史

成果発表

海洋情報部のドローン利用:歴史と取組み

技術・国際課 三枝 隼

琉球弧・沖縄トラフ・東シナ海において実施した
AUVを用いた精密海底地形調査成果

大洋調査課 堀之内 龍一

高品質なAUV測深データの取得に向けた
調査手法の標準化に関する技術的な取組

技術・国際課 住吉 昌直

海上保安庁における自律型海洋観測装置
(AOV)による観測の成果と今後

沿岸調査課 五味渕 有花

※そのほかポスター発表あり

詳しくは、海洋情報部ホームページをご覧ください。



SHIKOKU BA
四国海

会場＆オンラインハイブリッド

開催方法: 会場: 東京都千代田区霞が関 中央合同庁舎第4号館 共用220会議室
東京メトロ 霞ヶ関駅・虎ノ門駅・国会議事堂前駅から徒歩5分
オンライン: Web会議サービス(Cisco Webex Meetings)

参加費: 無料 事前申込み制

参加は、ホームページ <https://www1/kaiho.mlit.go.jp/>
または右の二次元コードから申し込みいただけます。

主催: 海上保安庁海洋情報部 共催: 一般財団法人日本水路協会

海上保安庁海洋情報部は、海の安全を守るため海図を作製しています。



参加申込み
フォーム